



# まくべつ

## 良い子に交通安全 ランドセルカバー

幕別ライオンズ  
クラブで贈る

幕別ライオンズ・クラブ（石村元春会長）では、ことし小学校に入学した良い子全員に交通安全ランドセル・カバーを贈りました。

ことし入学した良い子たちは、まだ交通のルールも交通事故の恐ろしさも、よく知りません。そこで、これら良い子たちを交通事故から守ろうと、遠くからでも「小学校一年生だな」とわかる黄色のランドセル・カバーを贈ることになったものです。

四月七日、鉛筆、ノートなどを持参して糠内小学校を訪れた役員の方々は「交通事故は絶対におこさないでください」と良い子たちにお話したのち、お母さん方にランドセル・カバーの付け方を指導しました。

指導するクラブ員の皆さん

広報  
4 / 1972



# 定例町議会で新年度予算きまる

# 総額17億3千62万9千円

昭和四十七年度の第一回定例町議会（予算議会）が三月十日に開催されました。第一日は会期を二十四日までの十五日間と決めたのち、昭和四十七年度の施政方針を中島町長が説明、次いで妹尾教育委員長から教育行政方針の説明が、おこなわれました。このあと各常任委員会に付託されていた継続審査事件の報告があり休会に入りました。

十六日に再会した町議会は新年度予算などを審議し、日程を一日くりあげて二十三日に全議案を何れも原案通り決定し終了しました。施政方針および教育行政方針、決定した各議案のうち主なものは次の通りです。

## 町民福祉の向上を期す

### 中島町長 施政方針を説明

#### 豪雪対策と被害の状況

昭和四十七年度施政方針に入ります前に過般の豪雪対策と被害状況について申しあげたいと思えます。

去る二月二十七日來の豪雪は地区によっては降雪量二尺にも達し各地区の交通は途絶いたし町民の生活と生産に重大な支障を及ぼしたのでありますが、早期復旧に最善の努力を傾注いたしました。

今回は特に送電、通信施設のストップ等により、各水道の断水が続き、これが緊急対策として発電機の確保と取付けを急ぎ、また給水車による各戸給水を実施しまし

た。

交通確保については、町有車両のほか借りあげ車両あわせて三十二両を投入し、昼夜兼行の除雪を実施したのであります。

さらに火災防止のための施設の再点検には関係機関を通じてのPRをおこない、あるいは、公共施設をはじめ各家庭の危険力所の点検など十分な配慮をいたし、復旧には、おおむね一週間を要したのであります。

この間、生乳の搬出確保に意を尽しましたが、出荷減量約十二ト、落等乳一・五トと、損失額にして約六十五万円となり、酪農家の努力によつて最少限度に被害を止められたものと深い敬意を表するものであります。

また、消防団員をはじめ町民各

位のご奉仕によつて市街地の交通確保が進められたことにたいし、厚く感謝申しあげる次第であります。

今後は、この教訓を生かし、除雪対策の強化と生活水の確保、防火態制の強化など十分対処いたしてまいりたいと考えております。

## 町政の基本方針

今春早々議会にご提案申しあげご審議をいただきました本町の総合計画にあります基本構想にむかつて、町民の福祉向上のため努力いたしてまいります。その重点施策について、ご報告いたします

### 農業振興対策

基幹産業である農業の振興につきましては、昨年の冷害によりま

#### 決定した主な議案①

##### 老人医療費助成条例の一部を改正

昨年十月に所得制限をつけ無料化を実施しましたが、四月からは所得制限を廃止し、七十歳以上の全員の医療費を無料にすることとなりました

乳児医療費助成条例  
満一歳までの乳幼児の医療費を四月から無料とすることになりました。

##### 敬老年金条例の一部を改正

昭和四十一年に制定した敬老年金条例の一部を改正し、年額五千円を八千円に増額しました。

す貴重な経験を  
体し、土地基盤  
整備事業の拡大

は勿論、基幹産業道路の改良整備にあわせて耐冷作物の作付奨励、酪農を推進し、農業指導普及体制の強化と関係農業団体との連携を密にして効率的な農業振興を推進いたす所存であります。

### 明るい

### 町民生活の確立

（次ページ上段へ）



### ①社会福祉の増進

明るい町民生活の基本ともいえるべき健康保持について、昨年十月から老人医療費の無料化を実施したのでありますが、本年は所得制限を撤廃して完全無料化とし、また、敬老年金を増額いたします。

このほか、本年度は乳児福祉対策

策としてゼロ歳児の医療費の無料化をおこない乳児の健康保持にため、一方、幼児の保育確保のため、中央保育所を建設すべく、補助、起債獲得のため関係当局と接衝中であります。

### ②生活環境の充実

まず、第一点としては本年一月

# 街路・防犯灯を全額町費負担

第二点は街路灯、防犯灯の無料化と維持管理の充実であります。

設の増強を図ってまいりたいと存じます。

昨年、無料化の第一歩として維持費の増額をおこない、新年度から完全町費負担とし、あわせて地区の防犯と交通安全確保のため

第三点は都市計画事業の推進と住宅の確保であります。

機能的な都市づくりを進めるため土地利用の効率的な配置計画を

め土地利用の効率的な配置計画を

### 文教民生常任委員会報告

陳情・糠内公民館湯呑場の不便

陳情・畜産振興について（一部採択）

解消について（採択）

採択）

陳情・駒島保育所ならびに冬期

建設水道常任委員会報告

女子青年講座に使用する

陳情・畜産振興対策について

建物の新築および交通問題

（一部採択・道路関係）

題について（一部採択）

決算審査特別委員会報告

陳情・鉄南地区の施設建設について（採択）

昭和四十五年度幕別町各会計

陳情・糠内地区プール設置について（採択）

決算および土地開発事業特別会計

陳情・農林都市振興常任委員会報告

の内容は別の項でお知らせいたします。

陳情・幕別駅前より東三条に至る道路の側溝整備について

の内容は別の項でお知らせいたします。

から実施いたしました塵芥処理無

料化を一步おし進めて、新年度は町直営により実施することとしたし、車両の充実と体制を強化いたします。

特に、農村地区における環境保全にも意を用いてまいる所存であります。

たてて用途地域の決定をみたのでありますが、特に街路側溝の整備を計画的に実施し、また、市街化形成の基本となる住宅確保を推進するため、公営住宅四十戸をはじめ道営住宅、分譲住宅を建設し、あわせて依田買収水田地の大型団地造成に着手して、本町十年後の目標人口達成への基盤を整備しようとするものであります。

第四点は上下水道計画の推進であります。

上下水道計画につきましては広域水道計画にあわせ基本設計をいたし、四十八年度より事業実施にかかるよう最大の努力をいたしたい

下水道につきましても調査費を計上して、市街地発展の方向を十分見極めて総合的な計画を推進いたします所存であります。

第五点は消防力の充実と急救体制の確立であります。

広域消防体制として昨年発足した消防事務組合は、整備三カ年計画の二年目にあたりますが、予防消防、初期消火の実を果すべく職員

の増加と施設の充実をはかり、また、激増する交通災害、緊急医療、不時の災害に備えて急救車を配置いたします。

近年、社会構造の急激な変化と進展にともなう、住民の生活レベルの向上と都市化への欲求は、生活環境整備の遅れから必然の結果として強い要請があり、新しい時代

に即した近隣社会を築くためにも、これらの要望意見を十分に把握し、親切に、しかもスピー

ドある町政を行なわなければならぬことは今更申しあげざるまでもないところであります。

この様に住民と常時対話を進め行政の効率的運用を図るために一部機構の改革を行ない、特に広聴活動を強化するため町民課の新設あわせて技術部門の統合による専門化と効率化を図るため、土木課と建築課を新設し、広域行政の推進と庁内体制を充実させ、新庁舎をセンターとして町民福祉の向上

決定した主な議案②

特別職の職員で非常勤の者の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正各委員および嘱託医の報酬を改正しました。

## 町民に直結した町政

交通安全指導員設置条例の一部を改正

今まで一日五百円（二時間）であった報酬を一時間二百五十円に改正しました。

町消防団員の定員・任免・職務等に関する条例の一部改正

団長以下の年額報酬を、それぞれ増額しました。

乳牛育成牧場運営委員会条例の一部改正

委員の定員を一名増やして十三名としました。

乳牛育成牧場管理条例の一部を改正

一頭一日あたり九十円であった放牧料を百十円に、百八十円であった舎飼料を二百十円に改正しました。

母子健康センター条例の一部を改正

母子健康センターの使用料の一部を改正しました。くわしい内容は別表。



を期する所存であります。

## 健全財政の確立

本町将来の発展と産業の振興、住民の生活環境整備など、一連の事業を推進するうえにおいて健全財政の確立は最も重要なものであります。

特に自主財源の伸長確保は、現状の経済機構では、はなはだ困難なものがあり、国、道にたいする依存度は極めて強いものがあ

す。

このようなことから、国、道にたいし積極的に資金の投入を要請し、しかも十分な確認のうえに立つて計画的な均衡のある町政を進めてまいらなければならないと考えます。

このような見地から、財政確立のため長期的展望にたつて町有林造成事業の拡大を図り、また、財政調整基金を設けて健全財政確立に資する所存であります。

## 一般経常費節減に努力

### 予算編成の大綱

まず、財政資金の見通しであり、ますが、昨年来の国際経済、国内経済の変動は、国の財政、地方財政にも大きな影響を及ぼし、地方財政計画においても収入の伸長は僅かにとどまり、財源不足額は地方債をもつて補てんする方針が、うち出されております。

特に地方交付税につきましては本町の場合、昨年度の伸び率二五・四%にたいし一五%程度の伸長しか見込めぬ状況であります。

また、町税につきましても冷害による減収と一般的な景気の停滞

定をまつて事業の補正を行なうべく考えており、地方交付税においては前年対比七・二%の伸びに止めたのであります。

次に歳出について申しあげます。まず、第一点として諸物価高騰の折から一般経常経費についてもかなりの増高が見込まれますが、努めて節減することに努めなければならぬものと思ひます。

第二点は住民サービス向上のため的人员は当然必要であります。少数精鋭主義を基本として、行政の多様化、複雑化に対処するため最少限の人員増とし、人事管理の適正化と職員の資質向上を重点にしてまいりたいと考えています。

第三点は産業の振興と住民の生活環境整備を重点とした事業の推進をはかつてまいりたい。

第四点では継続事業を優先させ、国、道の補助確定見込みのものは当初予算に計上いたし、未確定の

定をまつて事業の補正を行なうべく考えており、地方交付税においては前年対比七・二%の伸びに止めたのであります。

### 決定した主な議案③

- へき地保育所条例の一部改正
- 今まで月千円であった保育料を千三百円に改正しました。
- 火葬場使用条例の一部改正
- 町民は無料ですが、町外の方々からは次の額の使用料をいた

- 六歳未満の者 千円
- 六歳以上十四歳未満二千円
- 十四歳以上の者 三千円
- 幕別町課設置条例の全部を改正
- 新らしく町民課、土木課、建設課が設けられました。

ものについては確定の時点で補正ご提案申しあげることとした次第であります。

以上の考えのもとに編成を終えた予算は  
一般会計十三億三千八百七十五万三千円、国保会計一億五千六百五十二万二千円、国民宿舎会計一億七千五百四十八万円、土地取得

事業会計二千六百八十三万三千円、上水道会計千八百五十五万五千円、日新簡易水道会計四百四十五万七千円、豊岡簡易水道会計二百五十二万二千円、明倫簡易水道会計六百七十六万五千円、駒島簡易水道会計百四十四万二千円、総額十七億三千六十二万九千円となった次第であります。

## 敬老年金を増額

### バス、ゴミ処理車を購入

## 一般会計

次に一般会計の重要な予算について申しあげます。

議会費 町行政を

広い立場から推進して

いたただきたいと経費を若干計上いたしました。

### 総務費

昭和四十五年来継続事業として建設してきました役場庁舎は七月に竣工しますが、環境整備などの工事、あるいは備品購入の問題は別途ご協議を申しあげたい。

### 民生費

次に札内支所用地の確保と増加する町有車両の基地用地を先行取得する考えをもつており、四十六

次から積立している土地取得基金五百万円の活用をはかりたい。次に昨年十二月から運行している駒島〜糠内間の町営バスを引替つぎ運行するためバス一台を新規購入いたしたい。

なお、交通安全の確保につきましては、町民ぐるみの安全運動を展開するため、地区の実践活動を

助長し、また、歩行者の安全確保のため交通指導員の常勤体制を強化し、必要な安全施設、交通規制の早期実現を期すため公安委員会と折衝を続ける所存であります。





ては居住年限などの制約を設けて  
いるところもありますが、本町は  
七十五歳以上全員を対象と致して  
おります。また、ねたきり老人は  
現在十八名おりますが、老人奉仕  
員の派遣キヤジベット貸与など  
より福祉を増進してまいりたい。  
児童福祉の面でも、本年一月か  
ら実施されました児童手当で制度  
を平年度化したしますとともに幼  
児保育の実をあげるため、幕別、

札内両保育所の保母増員をはかり  
さらに幕別地区中央保育所の新築  
につきましては国、道の補助、起  
債の見通しが確実になった段階で  
予算化し、ご提案申しあげる予定  
であります。

**衛生費** へき地医療の確保と

無医地区の解消は大きな課題であ  
りますが、糠内の道立診療所は本  
年度限りで閉鎖いたします。新年  
度からは出来れば町立の診療所と  
して運営し、町内開業医のご協力  
を得て、少なくとも週二回程度の  
診療を実施したいと考えておりま  
す。

ゴミ処理については、新年度か  
ら広域行政において処理するため

古舞地区農用  
地開発事業

## 全体設計が完了

### 幕別・札内に児童公園造成

**農林業費** 本年は農業委員会  
事務局の体制を強化するための増  
員をはかり独立させたい。

特に継続事業として実施してい  
る農用地集団化事業をはじめ農業  
振興地域整備計画の樹立にともな  
い、離農跡地の移動事務が幅濫し  
ているため早急に実施したいと考  
えております。

施政方針を説明する中島町長

大型処理車を購入し輸送力の強化  
をはかりサービスの向上を期した  
い。衛生会は地区の環境衛生を進  
めるため存続し、過去のご助力に  
謝意を表するものであります。

成人病対策では、特別対策地区  
を設けて集中指導を実施するほか  
特に胃検診、婦人科検診の補助を  
おこない、受診率の増加をはかり  
たい。

**労働費** 失対事業就業者の高

齢化に対処して新年度からは三種  
事業に切替えるべく努力をしたい  
勤労者に対する福祉政策として  
住宅対策を推進する所存である。

また、建設業の主体である技能士  
会には十分意を用いてまいりたい

次に土地基盤整備事業と農業構  
造改善事業について申しあげます

前者については、ほとんどが継  
続事業で、国営駒畠パイロット事  
業一億五千万円、同じく国営の古  
舞直轄明渠排水事業は三年目で六  
千万円、茂発谷は四千万円、古舞  
地区農用地開発事業は全体設計が  
ようやく完了し、一千万円で事業  
に入るわけです。新川地区の直轄  
明渠排水事業は調査段階でありま



十四日間にわたって開催された町議会の全景



すが、四百六十万円の予算で実施いたします。

新規事業では、道営の西糠内地区直轄明渠排水事業一千万円、新規調査事業として国営相川地区直轄明渠排水事業に三百万円が、それぞれ決定、実施される予定であります。

農業構造改善事業第二次として、駒島第二農道事業二千四百二十五円、暗渠排水事業六十六万円、農業近代化施設として幕別農協馬鈴薯集荷貯蔵所およびトラクター施設の事業をおこなうこととなっております。

畜産振興につきましては、昭和四十五年度までは乳牛頭数も順調な伸びをみせておりましたが、昨

### 保育所児童に交通安全腕章

町商工青年会（木川拓二会長）では、このほど幕別・札内の常設保育所、それに9カ所の季節保育所児童全員に交通安全腕章を贈りました。

これは保育所の児童を交通事故から守ろうと実施されたもので、良い子たちは腕章をつけてもらいカッコイイと大喜びでした。



### 決定した主な議案④

町職員定数条例の一部改正  
町長事務部局の職員百三十人を百五十人に、水道事務職員十一名を十二名に、国民宿舎事務職員二十六人を三十人に、教育委員会の所管に属する学校職員

九人を十人にそれぞれ改めました  
町立学校設置条例の一部改正  
弘和小学校の廃校と、白人および途別中学校を札内中学校と改めるもので、前者は四月一日から、後者は四十九年四月一日の施行。

国民宿舎の設置に関する条例の全部を改正

予定の各事業が終了したため、条例の全部を改正しました。この結果、スキー場設置および管理に関する条例は廃止しました。

国民宿舎の管理及び運営に関する条例

町特殊勤務手当を支給条例の一部を改正  
自動車の運転を本務とする者に乗車一日につき百円を支給することにいたしました。

町財政調整基金条例  
財政調整のための財源にあてため基金条例を設けました。

年は冷害などの関係からか、頭数および生乳生産量も伸びなやみの傾向にありました。今後とも立地条件に適した多頭飼育を目ざし、また、本年も優良牛を導入、初妊牛として売却したい。

なお、ミルクの使用不適が目立っており、対策としてミルク

検定器を購入、使用の適正をはかる考えであります。

農村青少年育成については、各種の施策を推進しておりますが、農業後継者の大半は高校卒業者であるため、更に実践的な研修の場を与える。また、地区グループ活動を育成、助長する。あるいは先進地の視察など十分に考えて進めたい。

商工費 経済変動と冷害のなかで、打撃を受けた本町商工業界にあって、懸命の努力が続けられる各位に対し、更に経営の合理化近代化を進めるための資金援助策を中心に、中小企業運用基金の拡大強化をおこない。経営の安定と雇よう者の安定をはかりたい。

関連して、ペブシコーラの道東工場の誘致が決定されましたが、この経験から工業団地の造成と実現に努力いたしたい。  
土木費 多年の懸案でありま

## 平和通りの事業決定

した都市運動公園は、建設大臣より都市公園として指定をうけ、用地買収を行ない、幹線排水施設工事を実施いたす計画であります。今後は年次計画をもって整備するとともに、緑を多く取り入れ、幼児から老人にいたる憩の場として

整備建設する計画であります。市街地の公園としては、七百二十坪の札内中央児童公園を国庫補助事業として用地買収をおこなう、幕別市街の児童公園を幼児の広場として整備する所存であります。

幕別鉄南の平和通りについても本年待望の事業決定を受け、三カ年継続事業として一億八千万円をもって用地買収、道路改良、舗装をおこなう計画となっております

業は、今後も財源の確保につとめ街路の改良舗装、側溝の整備をおこない、期待にこたえてまいりたい  
冬季交通の確保、産業道路の維持管理に万全を期するとともに、防雪柵の設置を増やし除雪対策にも万全を期したい。

若菜川都市下水路事業の最終年次として、新町、新田地区をとり緑町にいたる四百十三坪の事業をおこない、幕別市街幹線排水路を整備いたしますが、今後とも計画的に延長充実に期してまいりたい  
市街地、住宅団地の街路整備事

特に夏季において塩カルと乳剤の散布を防塵対策として実施したい。  
本年度、道路改良工事として国道と協議中ではありますが、継続事業として豊岡地区の一般農道、日



新地区一般農道、相川地区一般農道、駒島地区農免農道、日新線における建設省関係の道路改良が実施され、新規としては途別二号橋を単年度で永久橋にと計画しております。

協議が終えている事業は、駒島・更別線の一般道路改良、これは観音坂の三百メートルを実施します。特一の道路改良は豊頃・糠内・芽室

## 糠内川関係は本年度で完成 消防団員の待遇を改善

河川改修では、猿別川、糠内川を実施するが、場所は糠内、美川中里地区で、何れも築堤工事となっており、糠内川関係は本年度で完成いたします予定でございます。

十勝川関係では相川十七号、二十三号地先の護岸工事にあわせ千住十三号先の流心切替えを、本年から着手の計画と聞いております。鉄道橋の切替工事にもなう猿別橋の架換え工事は本年完成し、引続き千代田橋鉄橋も本年から着工の予定で、四十九年完成の見込みであります。

**消防費** 常備消防費については整備計画二年目の事業として、消火栓などを水道施設計画とあわせて効果的配置をはかる所存であります。

線の美川零号坂九百メートル。凍害防止は美川零号の二千メートル、古舞の千五百メートル、猿別の千メートルが、それぞれ実施されます。

舗装関係では幕別・大樹線の四千二百メートル、これは駒島地区で実施し、また、更別・幕別線、これは途別地区ですが四千メートルの舗装が実施されます。

ります。

非常備消防費につきましては、繁忙な生業のかたわら奉仕を願っている消防団員各位に敬意を表すためにも若干であります。待遇の改善をはかり、住民の生命、財

### 決定した主な議案⑤

**町道の路線認定および廃止**  
町道として認定した道路、廃止した道路は次の通り

（認定） 札内七号団地道路  
札内西団地道路、札内七号線、札内鉄南大通り、札内七号東団地通り。

（廃止） 札内鉄南八号線、



## 婦人団体結成20周年 記念大会を開催

町婦人団体連絡協議会主催の婦人団体結成20周年記念大会が、去る3月26日にご婦人方多数が参加して開かれました。

大会は午前9時30分に開会、まず、町民憲章を朗読したのち一宮大会長から20年の歩みの経過と婦人団体の発展に協力して下さった方々にお礼の言葉を述べたのち、歴代理事、多年役員に一宮会長から感謝状を町長から現職会長（一宮四枝さん）に感謝状をそれぞれ贈りました。

このあと、道消費者協会事務局主事の榊原ナルさんから「女のくらし」と題した記念講演があり、午後からは芸能交換会を賑やかに開催し、記念すべき1日を終わりました。

写真は20周年記念式の模様

産の安全のため万全を期したいと考えています。

**教育費** 別途、教育委員会から基本方針が述べられますが、教育施設の整備拡充のため、地区の理解と協力を得て、適正規模の学

札内七号東団地通り、札内七号線

部分林契約の設定

弘和公区と部分林の設定契約をむすびました。面積は八千二百八十一平方メートル、契約期間は四月一日から昭和七十七年三月三十一日まで、収益分収の割合は町三割、弘和公区七割。

## 特別会計 実施しない国保税の増徴

次に特別会計についてご説明いたします。  
**水道会計** 水道の拡充計画につきま

校統合を推進することから本年度から三カ年計画で札内地区統合中学校の建設にはいりたい、と考えております。  
また、社会教育の振興をはかるため、青少年の健全育成とあわせて明るい生活の基調となるスポーツの奨励を、町営温水プール、スキー場施設を常時活用してまいります。  
また、給食センター事業は発足以来五年を経過し、事業も順調に推移し、この内容も向上しております。小中学生の体位向上の意味から今後とも運営、内容について一層の研鑽を重ねる必要があるかと考えます。

また、給食運搬車二両の更新をおこない、輸送に十分意を用いてまいります。

現有施設の改良に意を用い、特に技術的な検討を加えて生活用水の確保に努める所存であります。

簡易水道も同様に、設置目的にそなう管理体制の確立をはかりたいと考えております。



国保会計 歳入は冷害の影響により約七百万円の減収が見込まれますが、財政調整交付金、療養給付費負担金の伸びにより、収支のバランスがとれるものと判断いたし、税の増徴はおこなわず、今後、課税の時点で収支の検討を十分に行うとして歳入減にならぬようにつとめ、万一、減となった時は一般会計からの繰出しにより処置する考えであります。

金は、医療費の改正、薬価基準の改正などによる増高が見込まれ、二五%の増を見込みました。

国民宿舎会計 経営は最少の経費で最大の効果をあげるようつとめ、誰れもが気軽に利用出来る休養の場としてサービスの向上につとめ、なお一層、利用客の増加をはかりたい。

更に企業の努力によって財政の健全化をはからなくてはならないと考えている次第であります。

新年度からは温水プールも営業を開始いたしますが、一部、一般会計からの補助を見込んでおり、

今後とも内外の諸情勢を十分見極め、慎重な配慮のもとで住民福祉向上のため対処いたしてまいり所存でございます。

# 青少年のもつ可能性を開発

## 妹尾教育委員長 教育行政方針を説明

未来をになう青少年が持つ可能性を豊かに開発し、社会に貢献する有為な人間の育成と知性、情操更に創造性に富んだ人間性の涵養を基本とした教育行政の進展を期し、住民の期待に応えたいと存じます。

### 〈学校教育〉

義務教育については、急速な社会の変化を直視し、新しい時代を志向する教育のあるべき姿を考察するとともに時代の進展に應える調和のとれた豊かな人間形成、ひとりひとりの能力を伸ばす教育、いわゆ

る可能性の開発と効果的な学習指導が大切なことであります。

えましよう。

### 〈社会教育〉

そのためには教師個々の研修は勿論のことですが、校内の共同研究体制を確立し、教育機器の指導組織の考究が大事なことで存じます。これが実践のためには、個性の尊重に基づき望ましい人間関係の確立が最も重要なことであります。

社会の進展に對処し、明るく豊かな住みよい生活環境を育てる強い意志をかん養するため、住民に密着した、きめ細かな社会教育が大切であります。これには青少年の多様な要求に對処する団体活動と学習活動の強化、家庭教育学級、婦人学級を中

子ども对教師、教師对住民が、お互いに愛情と信頼に立脚した生徒指導および学校経営が、本町の教育を推進する原動力であるとい

さて、昭和四十七年度の教育予算は一億六千四百二十八万六千

### 決定した主な議案⑥

四十六年度一般会計補正予算 十四万二千元を追加、総予算は二百九十九万六千円となりました。

へき地患者輸送車購入、育成牧場用地購入その他のため千二百二十二万二千元を追加。この結果一般会計の総額は十五億六千二百六十六万六千円となりました。

四十六年度国保特別会計補正予算 四十六年度国保特別会計補正予算 二十六万五千元を追加、総予算は一億四千四百八十三万八千円となりました。

四十六年度日新簡水特別会計補正予算 四十六年度日新簡水特別会計補正予算 三十八万八千円を追加、総予算は七百一十九万九千円となりました。

四十六年度豊岡簡水特別会計補正予算 四十六年度豊岡簡水特別会計補正予算 四十六年度国民宿舎事業会計補正予算 収益的支出の予定額百万円を補正。この結果、第一款国民宿舎事業費用の総額は一億三千四百六十七万五千円となりました。

## 統合校舎を新築

で、このうち学校教育費は一億四千二百二十六万二千元、社会教育費

は二千三百一十四千円となっております。以下予算編成の内容を申し上げます。

心とした学習機会の充実をはかり特に町民に健康なレクリエーション活動の普及とスポーツの生活化を期し、町民の方々の付託に応えたいと存じます。

学校教育費 現在、町内の小学校は小学校十五校、中学校六校、計二十一校であります。

新年度に在籍する児童、生徒数は小学生千六百三十三名、四十六年度より二十一名の減、中学生は八百八十一名で二十七名の減となります。



各校とも減少の傾向をみせておりますが、白人小中のみ漸次増加の傾向をみせております。

指導にあたる教員は小学校百二名、中学校六十一名で、新年度には中里小、幕別中の教員が減となり、増加するのは学級編成基準の改正により新和小、美川小が、学級増による白人小中が予定されております。

さて、かねてから懸案でありました白人中の統合校舎新築工事を新年度から実施いたしたい、と考えております。

ご承知の通り、札内地区の人口増は、はげしいものがあります。これに対処する教育施策と、へき地校の学校教育の効率化をはかるため、地区住民のご理解と合意により、途別中学校統合にもとづく統合校舎を三カ年計画によって依田の地に鉄筋コンクリート三階建校舎四千九百九十平方メートル、屋体千二百六十六平方メートルを建設いたしたいと考えております。

第一年度は総工費五千二百二十六万円で校舎千五平方メートルを建設し、本町の総合教育計画の基礎といたしたいと考えてあります。

また、弘和小学校は住民のご理解によって四月一日より駒畠小学校に吸収統合をおこないます。学校施設の整備については、従

来とも意を傾注しておりますが、新年度は小学校三百六十万円、中学校二百四十万円、計六百万円を

計上、児童・生徒がのびのびとした学習が出来得る施設整備をおこないたい。

## 白人小プールに浄化装置

水泳プールの衛生管理は重要なことであるため、白人小学校プールに二百二十万円をもって浄化装置を取りつけたいと考えております。

いと考えております。新年度は中学校の新学期指導要領にもとずき、新しい教育内容の教育がおこなわれることになっており教科書の改訂がおこなわれます。この教科書および指導書の購入費として五十七万円計上させていただきます。

四十六年度には郷土読本を作成しましたが、本年は副読本の効果的活用と学習の向上を期するため五十万円を計上し資料編を作成し同時に町内バス学習をおこない、郷土にたいする認識を深めさせた

最近のスケート技術および普及はめざましいものがあり、特にへき地校の進歩は、今後の学童の健康

康管理指導面において意を強くしている次第であります。これが造成費として八十万円を計上、更に振興をはかりたいと考えております。

P T A 会費の軽減対策費としては四十六年度の二〇%増の百五十万円を計上いたしました。

また、教育機器の導入による学習の効果的実践をはかるため百万円を計上し、シンクロ、オーバーヘッドなどを購入し、効果を期したいと存じます。

学校配分の消耗品については、学校運営に支障のないよう配慮し特に教育機器消耗品の配分の増、および新たに環境整備の配分をお

### 決定した主な議案⑦

#### 四十六年度水道事業会計補正予算

収益的支出の予定額四十八万八千円を補正。水道事業費の総額は千二百二十万六千円となりました。

四十七年度一般・特別・事業会計予算  
くわしい内容は、別項に掲載しました。

財産取得について  
町営牧場用地として三十三万

五千五百五十五平方メートル(三十三町八反三畝十七歩)を七十万円以内で買収することになりました。

選挙管理委員・同補充員の選挙  
選挙管理委員、同補充員が決りました。

(選挙管理委員) 中川秋義  
(錦町)、久保与三郎(札内)、大野春雄(千住)、藤原キサ(旭町)

(補充員) 奈良武一(明倫)  
浅田繁輝(南町)、田村賢一(中里)、中村修(札内)

#### 町議会委員会条例の一部を改正

町役場の機構が変更したのにもない、次のように改正しました。

総務常任委員会(総務・企画)

厚生 (文教・民生)

産業 (農林・都市振興)

建設 (建設・水道)

なお、農林・都市振興振興副

委員であった故・藤内春雄さんの後任に高橋勇さんが当選しました。

こない、清潔で、きれいな学校環境の育成に努力したい所存です。

なお、教育の第一線でご努力されていきます教職員的生活環境整備には特に意を傾注してまいった次第ですが、今回も千二百万円を計上し、補修、整備にあたりたい。

社会教育費 明るい豊かな生活環境として創造性に満ちた社会教育の進展のため、特に、現在、強調されています家庭教育学級の充実を期し、家庭における子どもへの指導に十分意を傾注いたしたいと考えております。

青年団体、婦人団体その他の団体の育成にも極力つとめますが、各団体の自主的な活動の中で、更に効果を高めるよう指導してまいりたい。

公民館活動についても、十分な連けいを保ち、地域に密着した分館活動を果せるよう施設の整備につとめたい。

スポーツの振興は健康で豊かな生活につながるものと確信しております、老若男女を問わずに親しまれ喜んで参加できるスポーツ行事の開催を検討いたしたい。

また、温水プールも、社会体育施設としての効果的利用を検討し住民の健康増進をはかりたい。

最後に、児童保育所の運営であります、社会福祉施設として十



分機能が發揮出来るよう更に該当家庭によびかけ、子どもの保護と指導につとめていきたいと存じます。

## 母子健康センターの 使用料と温水プール の利用および使用料

第一回定例町議会で母子健康センターの使用料と温水プール利用料および使用料がきまりました。

（母子健康センター）左の表のように入所料が二百円高くなつたほか、分べん介助料、給食料も改正しました。

幕別町の住民と町外の方々で入所する場合の差は、今まで通りとなっています。カッコ内は旧料金（温水プール）三月末に完成し、ただいま五月中旬開業をめざ

母子健康センター使用料

区 分	金 額	
	町 内	町 外
入 所 料	日額 700 (500)	日額 900 (700)
分べん介助料	8,000 (7,000)	10,000 (9,000)
給 食 料	日額 350 (300)	日額 350 (300)

温水プール利用料および入場料

区 分	利用料（2時間につき）		超過利用料 （1時間につき）	入 場 料 （プールを利用しない者）
	一 般	団 体		
大 人	200	100	100	100
小・中学生	100	50	50	50
幼 児	50	25	25	25

## 伸び率大きい土木、教育費

### 歳入のトップは地方交付税

昭和四十七年度の町の台所をまかなうお金は、総額十七億三千六十二万九千円、うち一般会計の歳入、歳出は十三億三千八百七十五万三千円、特別および企業会計は三億九千八百八十七万六千円となっています。

一般会計歳入、歳出の内訳は次の図表の通りです（単位千円）

●歳入 地方交付税

が全体の四四・一二％にあたる五億九千九十万三千円、次いで道支出金の一億六千三百五十五万二千円、諸収入の一億六千七百七十五万七千円、町税の一億四千二百六十八万二千円となっています。

●歳出 歳出では総務費の三億五千八百五十五万円で、全体の二六・八％、以下、土木費の二億四千九百七十二万七千円、農林業費二億四千五百五十九万三千円、教育費一億六千四百二十八万六千円衛生および民生費の合計が一億三千五百三十二万九千円が主なところ。

この歳出を前年度当初予算と比較してみますと、土木費の伸びが約二倍半と高く、次いで教育費の約二倍。土木、教育は昭和四十七年度の大きな柱となっております。

このほか、議会費、衛生費、消

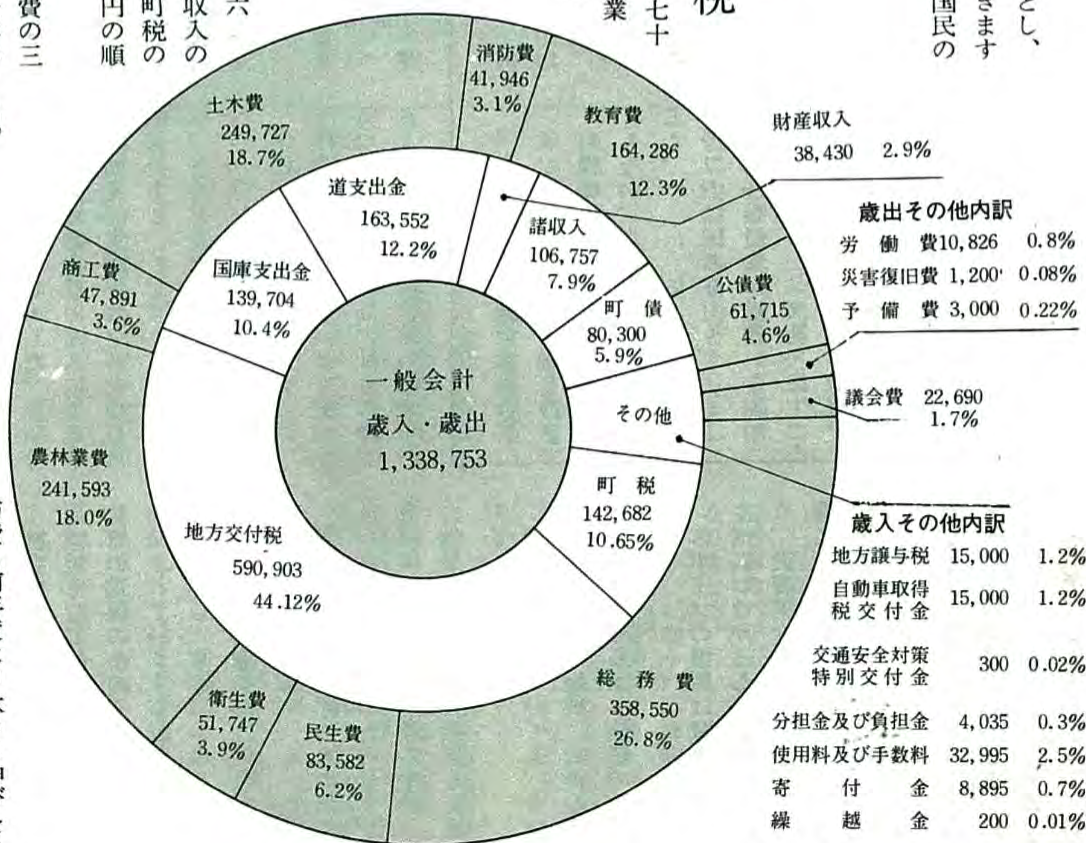
防費も前年度より大きく伸びをみせております。

なお、歳出の細部、すなわち昭和四十七年度に実施する各事業に

ついては、次号でお知らせいたします。

ます。

なお、団体は三十名以上とし、利用料金は大人で二百円（二時間）、一時間超過しますと百円必要となっています。また、プールを利用しない場合でも入場料として百円徴収いたします。





## 昭和45年度一般・特別会計決算表

(単位円)

区 分	歳 入	歳 出	差 引 額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
一 般 会 計	1,022,422,396	992,202,831	30,219,565	11,500,000	18,719,565
国 保 特 別 会 計	143,518,400	135,214,301	8,304,099		8,304,099
駒 島 簡 易 水 道 会 計	2,404,700	1,945,557	459,233		459,233
豊 岡 簡 易 水 道 会 計	3,008,699	2,533,518	475,181		475,181
日 新 簡 易 水 道 会 計	12,722,626	12,244,206	478,420		478,420
明 倫 簡 易 水 道 会 計	20,994,000	20,831,203	162,797		162,797
合 計	1,205,070,911	1,164,971,616	40,099,295	11,500,000	28,599,295

認定された昭和45年度各会計決算

三千五百万円余を翌年度へ

### 一般会計歳入・歳出決算表

歳 入		歳 出	
区 分	収入済額	区 分	支出済額
町 税	123,186,174	議 会 費	16,905,559
自動車取得税交付金	17,160,000	総 務 費	283,699,176
地方交付税	427,526,000	民 生 費	76,260,321
交通安全対策特別交付金	197,000	衛 生 費	20,707,181
分担金及び負担金	3,217,160	労 働 費	15,502,180
使用料及び手数料	24,119,774	農 林 業 費	157,891,106
国庫支出金	132,268,613	商 工 費	40,425,545
道 支 出 金	93,446,280	土 木 費	199,901,140
財 産 収 入	33,982,165	消 防 費	33,038,611
寄 付 金	9,901,676	教 育 費	103,801,655
繰 入 金	5,524,263	公 債 費	44,073,357
繰 越 金	19,737,667		
諸 収 入	86,455,624		
町 債	45,700,000		
計	1,022,422,396	計	992,202,831

昭和四十五年年度幕別町各会計決算および土地開発事業特別会計決算が、監査委員の審査のあと、町議会決算審査特別委員会で審査されましたが、先程開かれました定例第

昭和四十五年年度幕別町一回町議会で、特別委員会の報告通り認められました。

各会計の決算状況は次の通りで、一般会計では千八百七十一万九千五百六十五円を、特別会計では九百八十七万九千七百三十万円、企業会計では六百五十一万三千八百

八十一円、計三千五百一十一万三千八百一十一円を、翌年度に繰りこしたしました。

なお、企業会計剰余金のうち一部は企業債償還のため積立てておられます。

各会計の決算内容は次の通りとなっております。

歳入、歳出差引き残額は30,219,565円、うち11,500,000円は役場庁舎建設資金として翌年度に繰越したため、実際の残額は18,719,565円です。

### 企業会計決算表

(単位円)

水 道	収益的収入	9,536,322	計画給水人口 6,000人 現在給水人口 4,678人 普及率は48% 年間給水量 386,631m <sup>3</sup> 1日平均 1,051m <sup>3</sup> 1日最大給水量 1,368m <sup>3</sup>
	収益的支出	9,216,698 319,624	
国民宿舎	収益的収入	121,180,542	1年間の宿泊35,919人 休憩者 170,970人 計 206,889人 1日平均宿泊者98人 休憩者 468人 宿泊者消費総額 47,296,157 休憩者消費総額 58,955,571
	収益的支出	114,984,280 6,196,262	
土地開発	歳 入	154,700,000	水田減反政策による買いあげ
	歳 出	154,700,000 0	

#### 昭和47年度町税の内訳

総 額	142,682
町 民 税 個 人	39,050
ク 法 人	8,000
固 定 資 産 税	55,739
軽 自 動 車 税	3,113
町 た ば こ 消 費 税	21,840
電 気 ガ ス 税	7,800
木 材 引 取 税	50
入 湯 税	7,090

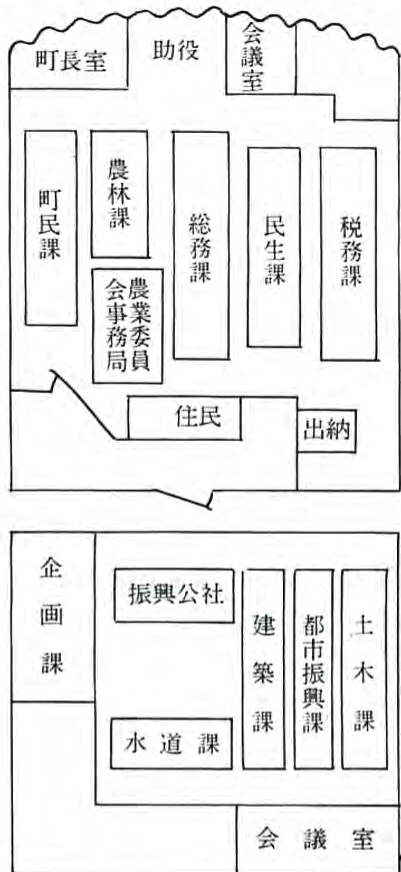
(単位千円)



# 役場の機構がかわりました

## 四月一日 大幅に人事異動実施

町では四月一日付で大幅な人事異動をおこないました。今回の異動は、町民に直結した町政の推進と住民サービスの強化を目的とし特に、広報広聴業務を推進するために町民課を、技術部門の統合による専門化と効率をはかるため土木課、建築課を新設、また、農業委員会事務局を独立させ、これにもとずき適材適所に職員を配置しました。異動の内容は次の通りです。



←一階配置図

←二階配置図

町では四月一日付で大幅な人事異動をおこないました。今回の異動は、町民に直結した町政の推進と住民サービスの強化を目的とし特に、広報広聴業務を推進するために町民課を、技術部門の統合による専門化と効率をはかるため土木課、建築課を新設、また、農業委員会事務局を独立させ、これにもとずき適材適所に職員を配置しました。異動の内容は次の通りです。

### 総務課

課長・杉山孝、課長補佐兼総務係長・前原鏡、職員係長・早苗茂、職員係・細岡澄子、経理係長・井上恒夫、文書係長・芝木勝幸、文

中島町長は病氣療養のため四月二十四日から当分の間（七月末までの予定）入院、治療に専念することになりました。中島町長の療養中は町長職務代

## 五十嵐 助役 町長職務代理者に

中島町長は病氣療養のため四月二十四日から当分の間（七月末までの予定）入院、治療に専念することになりました。中島町長の療養中は町長職務代理者をおくことになり、五十嵐助役が、その任に就きましたので、お知らせいたします。

### 各課の配置きまる

役場の人事異動にともない、各課の配置がえがおこなわれ、上の図のようになります。もと企画課の場所に町民課が入り、企画課は二階となりました。

役場にご用の方で、わからないときは窓口の住民係におききください。

資産係・横山義嗣、氏原英俊

### 企画課

課長・二川勝美、課長補佐兼統計係長・森田功、統計係・松田礼子、企画係長・逢坂勝己、企画係・加藤光人、企画課付・前田兼夫

### 町民課

課長・林昭夫、課長補佐兼広聴係長・小尾和夫、広聴係・高島克己、広報係長・武田衛、交通防災係長・佐々木定雄、交通防災係・新屋敷清志、住民係長・須田義雄、住民係・島田吉昭、前田陽子、松

田信子

### 民生課

課長・高橋良平、課長補佐兼保健係長・前原昶、保健係・吉村洋子、下村静子、福祉係長・松山雄三、福祉係・豊田百合子、年金係長・嶺野範雄、衛生係長・木村茂札内保育所・中村くら、幕別保育所・九本奈美、野々村玲子、十勝愛育園・佐藤典子

### 農林課

課長・二川豊、課長補佐兼畜産係長・山口秀勝、農政係・古川耕一、牧場係長・林源一

### 都市振興課

課長補佐兼商工係長・宮本大正、商工係・小尾百合子、主任技師兼計画係長・清水実、計画係・長屋忠弘、事業係長・高橋勝雄、事業係・増谷文夫、佐藤俊克

### 建築課

課長・池浦光男、課長補佐・小椋正、主任技師兼建築第一係長・梅田音市、第一係・額瀬良衛、立田祐子、主任技師兼建築第二係長・中村覚、第二係・井川澄男、橋本正司、建築課付・小尾丁二、浅見康夫、小野典昭

### 土木課

課長・山崎輝昭、課長補佐兼車輛係長・篠原白陽、管理係長・詫間光明、管理係・寺岡かねよ、主任技師土木第一係長・川尻博之、

行政上の問題でお困りのことがあったら、行政相談委員の加藤銀市郎に、ご遠慮なくご相談ください。文書でも電話でもよろしい。ご来訪いただければ、これにこしたことはありません。

◎秘密は固く守ります

◎勿論、料金は頂きません

◎これまでにお困りのことで解決してあげた件数はたくさんございます。

◎私の住所および電話は次の通りです。

住所―幕別町寿町六六番地  
電話―幕別④2818番

第一係・土井昌一、所拓行、田中光夫、第二係長・高橋岩雄、第二係・森広幸、車輛係主任・福島利吉、車輛係・牧野稔美、平出弘、綱島勇夫、七条繁秋、西出盛雄、松井弘幸、有沢博、山保盛、千葉宏、郷勝、小笠原稔晴

課長補佐兼業務係長・宮下徹、業務係・上田恵子、主任技師兼工務係長・堀井守、浄水係長・高橋昭、水道課付・後藤十一郎

支所、出張所  
札内支所総務係長・佐藤正昭、住民係長・徳田博司、住民係・中



島とみ子、棟内出張所長兼駒島出  
張所長・松山友春

出納

出納係長・鎌田幸雄

国民宿舎

支配人・国枝正義、副支配人兼  
経営係長・秋山稔

農業委員会事務局出向

二川辰夫、前田竜男、高田敏、  
西原良子

教育委員会事務局出向

菅原繁光、井沢政助

町議会事務局出向

田井浩

幕別・豊頃学校給食センター  
出向

金内仁太郎、佐藤有孝  
消防署人事異動 四月一日付  
署次長兼予防係長・佐藤末吉、  
庶務係長兼救急業務主査・土田勝  
美、警防係長・西田慶明、札内出  
張所長・矢野治幸

# 有効期間は3カ月 免許証更新時講習会の日程

昭和四十七年度免許証更新時講習会が次の日程で開催されます。免許証の更新をおこなう方は、近くの会場にご参集ください。  
なお、講習の有効期間は三カ月ありますので、免許証の有効期間を、よく確かめて講習をお受けください。

- 五月八日午後一時 札内公民館
- 八月三日午後一時 町民会館
- 十月九日午後一時 札内公民館
- 十一月二日午後一時 町民会館
- 十一月二十三日午後六時 町民会館
- 二月一日午後一時 棟内公民館

## 色紙で交通安全を呼びかけ

中島町長

春の交通安全運動が四月六日から十五日までの間、展開され、町民の皆さんのご協力によって大きな成果をあげることが出来ました。町では事故防止に各種の対策を



たて推進し、特に新入学児童および保育所に通う子ども達の事故防止に重点を置きました。  
この期間中、車両を多く所有している町内の各事業所にたいし、中島町長は色紙に「交通安全」の字を揮毫し贈呈、事故防止を呼びかけました。  
町長揮毫の色紙

## 交通指導員に感謝の手紙

町民の皆さんを交通事故から守るため、連日、街頭に立ち、指導している交通指導員の皆さん。この指導員の一人、国枝栄子さんに次のような手紙がときましたので、ご紹介いたします。手紙を書いた方は、幕小一年青組の米山ゆきみさんです。

わたしは、みどりの おばさんが 雨の日も かぜの日も いつも おうだんぼどうに 立っていて、くれるので、うれしいです。おれいに なにか あげたいのですが、お金がないので 手がみをおくりません。

わたしは おうだんぼどうをわたるとき 手を あげたのですが 車がとまって くれなくて 車にひかれそうに なった ことがありません。それから わたしは車が とまって くれるか とうらないときで なくては わたらないことに、しました。わたしは みどりの おばさんに かんしゃしています。からだに きをつけて くださいね。

## 自衛官を募集

防衛庁では、ただいま自衛官を募集しております。詳しい内容は役場町民課広報係に、おたずねください。

## 出火のおわび

去る四月十六日の早朝、幕別小学校からの出火にあたり町民の皆さまに大変ご心配をおかけいたしましたことにたいし深くおわびいたします。

学校火災の殆んどが全焼という現状にあります。幕別小学校側の早期発見と通報、消防団の適切な消火活動によって、大事を未然に防ぐことが出来ましたことは、ただただ感謝のほかありません。

今後は、この教訓をいかして、二度と、このような事故が発生しないよう、心いたすとともに、あらためて深くおわびいたします。

幕別町

幕別町教育委員会



# 営農計画 は慎重に

## 安定しない夏型の天候

### 心配な二年続きの低温予想

このように、数十年ぶり、あるいは二百年に一回と言われる異常気象、低温が五回もおきた昨年ほどではないにしろ、作物生育の最盛期から登熟初期にかけて二回ぐらゐの低温を覚悟しておいたほうが安心と、札幌管区気象台の山崎予報官は語っております。

どうか、二年続きの被害にあわぬよう、投機的作物を最少限として経営の安定をはかるよう、ご家族の皆さん全員で営農方針を慎重に話しあってください。

## 商業統計調査に

### ご協力ください

通産省では、商業統計調査を全国一斉に五月一日現在で実施します。

この調査は、昭和二十七年以降二年毎に行なっており、こととして十一回目にあたるもので、商業を営む（飲食店を含む）全事業所をもれなく調査するものです。

おもな調査項目は、商店名、所在地、経営組織、従業者数、商品販売額、商品手持額、仕入先ならびに販売先別割合、営業経費など

- 一、ここ数年に似て天候、寒暖の変動が大きい。
- 二、農耕期間を通じてみると平年より、やや低温。ただし昨年より多少良さそう？
- 三、春はほぼ順調だが、七、八月の盛夏期に夏型の天候が安定しない。七月と八月の境で暑い日が出そう。
- 四、秋のおとずれは早め

について、北海道知事に任命された統計調査員が各商店を訪問して調査記入をお願いすることになっていきます。

## 回答は一週間以内に

### 苦情・要望をお聞かせください

町では昨年来、町民の皆さんから要望、苦情その他の申し出を受け、また、対話集会を開催するなど、積極的に広聴業務を推進してまいりましたが、この広聴を更に充実したものとするため、新年度から町民課内に広聴係を設けました。

広聴とは広く聴く、すなわち、町民の皆さんの声を聞き、これらの声を町政に反映させよう、というもので、ことしから専用の広聴車で町内を巡回し、皆さんの遠慮のない声を、お聞かせ願うことになりました。

町では、私たちの住む幕別の皆さんが健康で、しかも明るく暮

ている折から、広く各関係方面から期待されています。

この調査の取りまとめ等は各町村役場で行ない、道庁を通じて通産省に提出されますが、この調査票は、税金その他皆様方の不利益になることに使用することは、統計法により固く禁じられていますので、調査の重要性をご理解いただき、ご協力ください。

## 万一に備えて

交通事故にあいまいすと例外なく経済的に大きな痛手をうけます。万一に備えて交通傷害保険に加入しましょう。

三地区で対話集会を開催し、貴重な声をお聞かせしていただきました。

このように、いろいろな方の声を、または要望をお聞かせ願いましたが、これで十分とはいえないため、ことしから広聴係を設けて専門に処理することになったものです。

係では、申し出のあった問題を調査し、事業担当課と協議して、おそくとも一週間以内に、申し出なされた方に処理方針を回答することにしております。

なお、公区長さん宅にあります申し出書のほか、電話、口頭その他どのような方法でも結構です。遠慮なく町民課広聴係まで、お申し出ください。

## 火葬届けは早目に

最近、火葬届け出がおくれがちで、事務に支障をきたしてお

ります。世話人の方は、火葬の前日、または、おそくとも告別式の三時間前に役場衛生係まで、ご連絡ください。



# 幕別救急業務を実施 消防署

## 新鋭車を配置しました

昨年六月に救急業務実施の政令指定を受けた町では、その準備をすすめておりましたが、去る三月末に救急車が到着したため、新年度から幕別消防署において救急業務をおこなっております。

消防署がおこなう救急業務は、一般医療機関などがおこなう救急業務とは違い、災害により負傷した方々の救急搬送をおこなう任務

### 救急業務の範囲

をもっておりますので、町民の皆さまのご協力をお願いいたします

①火災、風水害、地震などによる災害事故 ②交通事故、土木建築工事中の事故など屋外で生じた事故 ③学校、百貨店、競技場などで発生した事故 ④屋内で起きた事故のうち救急隊員によって搬送を必要とする事故 ⑤消防長または消防署長が救急隊によって搬送を必要と認めた事故。



## 火を使う人ならできる火の始末

### 火の元には十分ご注意ください

春の火災予防運動が五月十九日まで全道一斉に展開されています。ご承知のように春は一年中で特に火災が多く、しかも、その大半が不注意からとなっているところから「火を使う人ならできる火の始末」を統一標語に運動を展開しております。火災や焼死事故を出さないために次の点に、注意しましょう。

### 救急隊員の要請



救急車と内部。この救急車は十勝管内で最も大型で、患者用担架3台が並列でき、患者を含め定員は10名となっています。

### 写真説明

幕別消防署 電話一一九番  
電話(四)二四三四番

なお、救急隊員を要請するときは事故の内容を連絡ください。

- ①寝る前に火の元を確認
- ②体の不自由な人や女、子ども、老人は二階以上に寝させない
- ③寝たばこは絶対によめる
- ④子どもの手の届くところにマッチ類は置かない
- ⑤旅館などでは避難階段や非常口を確かめる
- ⑥工場、作業場、危険物倉庫などのうえに寝室を設けない。

なお、四月十六日午前二時ころ

## 大切な林野を火災から守りましょう

町では大切な木材資源を守るた

幕別小学校から出火した際、小学校の用務員・高橋幸雄さんの早期発見と通報、それに第一分団および第二分団の皆さんの風雨の中の敏速な活動で、大火を未然に防いだ功労にたいし、町では第一、第二分団に褒状と金一封、高橋さんには金一封をおくり、その労をねぎらいました。

め、ことしも次の要領で林野火災予防期間を設け、特に五月一日から七日までは無煙期間とし、どのような理由の火入れでも許可しないことにしましたので皆さんのご協力をお願いいたします。

〓予防実施期間 四月から六月までの三カ月間

〓予防強調期間 四月下旬から五月上旬まで

〓無煙期間 五月一日から七日まで

〓防点検日 五月二、九、十六、二十三、三十日。



# 地区文化発展に大きな足跡

## 弘和小学校 学校統合で閉校式

弘和小学校の閉校式が三月三十日に、児童および関係者多数が出席して開かれ、四十数年の歴史に幕を閉じました。弘和小学校の前身である奥糠内尋常小学校弘成特別教授場の設立が認可されたのは昭和二年八月のことで、直ちに二千五百円の工事費で校舎の建築に着手し、同年十二月に完成をみました。

翌三年二月一日、奥糠内尋常小学校（現在の駒島小学校）に通っていた三十三名の児童を収容して授業をはじめました。

その後、開拓の進展にともない

児童数も増加し、昭和十五年には待望の独立校となり、名称も弘成尋常小学校となりました。現在の校名になったのは昭和二十二年四月のことですが、入学児童数は年々減少、昭和四十七年度は入学者がなく、在校生も十二名になるところから、町教育委員会と弘和地区の方々で話しあつた結果、駒島小学校に統合することになったのです。

写真は閉校式の模様



広報まくべつ(二四九号)

発行 幕別町役場(幕別町幸町七〇番地) 編集 町民課広報係 印刷 大同出版紙業株式会社

職員に感謝状を贈り、永年にわたる労苦を感謝し、また、在校生に記念品を贈り「今後とも頑張つて勉強してください」と激励しました。

## 皆勤賞は二十八名

### 赤ちゃんクラブで終了式

昭和四十六年度町赤ちゃんクラブ終了式が三月二十七日に町民会館で開催され、この一年間、クラブの行事に熱心に出席した方々を表彰したのち、「乳幼児をもつ母親のあり方」と題する三宅嘉子さんの講演を聞きまし

た。表彰された方々は次の通りです。

親のあり方  
と題する三宅嘉子さんの講演を聞きました。表彰された方々は次の通りです。

昭和四十六年度町赤ちゃんクラブ終了式が三月二十七日に町民会館で開催され、この一年間、クラブの行事に熱心に出席した方々を表彰したのち、「乳幼児をもつ母親のあり方」と題する三宅嘉子さんの講演を聞きまし

- ▼駒島支部 山口光子
- ▼糠内支部 大島三子
- ▼明倫支部 松岡時子
- ▼札内支部 土井美恵子、三浦節子、真鍋陽子、足利美和子、沼田久枝、棚英子、三井雅子、松田啓子
- ▼日新支部 山崎町子
- ▼古舞支部 茨木和子
- ▼努力賞
- ▼幕別支部 岩井祐子、草野マキ子、鎌田ハツ子、齊藤ヒデ子、岡田キミ子、笹井恵美子、内野弘子、今福朝子、伊藤民子、長尾美智子、堀口文子
- ▼日新支部 鈴木紀代子
- ▼札内支部 齊藤弘子、田中るり子、帰山久恵、寺島ヒロ
- ▼駒島支部 長崎明子、前川古都、山田信子
- ▼糠内支部 高島千恵子、永井京子、橋本陽子
- ▼明倫支部 稗田恵子、牧田佐津子

## 商工青年会新役員

- ▼幕別支部 小笠原露子、川岸敏枝、川岸敏枝、沢田定子、熊谷玲子、荒川節子、成田峰子、瀬瀬道子、三野百合子、塚本フミ子、富谷美智子、山本艶子、山岡しげ子、木藤光子
- ▼尾崎えみ子、荒悦子、木藤光子
- ▼井川暁子、森田久恵、辻美智子、笹島末子、齊藤美佐子、武田智江子、高橋恵子、
- ▼会長 田所富雄
- ▼副会長 小野寺博昭、稲毛空征、木村建一
- ▼理事 広瀬堅持、高山満、桑折明、横川寛、木藤隆光、早津邦男、逢坂高史、館昌利、松島由弥、木村正作、芹沢忍、福田和英
- ▼監事 齊藤栄一、細川義則